

特別栽培米のブランド力強化により、所得を向上

(よさのちよう)
【京都府与謝野町】

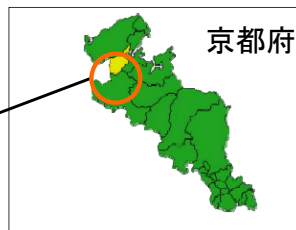
目標: 販売額の増加 整備内容: 計画策定、堆肥施設整備、用水路(220m)、農作業道(220m)

【工夫のポイント】

- 地域の所得向上の確実性を高めるため、課題の分析等を行い特別栽培米のブランド化に向けた認証制度の導入の検討等、実践的な取組計画を策定
- 米の付加価値向上のため、「おから」を主原料とし、米ぬかや魚のアラを加え発酵させた有機質肥料を使用した自然循環農業を推進
- ブランド力強化のため、堆肥生産施設の増強や生産基盤の整備に取り組み、ブランド米「京の豆っこ米」の増産体制を確立

【取組地域の概要】

- 位置 (よさのちよう)
京都府与謝野町
(振興山村(一部)、半島振興、特豪(一部))



与謝野地区

- 主要作物
・水稲

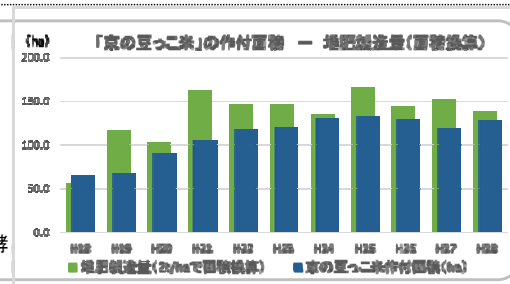
- 主な支援施策
・中山間地域総合整備事業(国:H6~H10)
・農山漁村振興交付金(国:H27~H28)

取組前

- ・ 米価低迷により農業産出額が下落傾向にあることから、堆肥を使用した地域のブランド米(「京の豆っこ米」)の生産を開始

【課題】

- ・ 堆肥供給能力の不足から、生産者のブランド米作付け要請を満たせていない状況
- ・ 団地化や農作業道・水路等の基盤が整備されておらず、生産性向上の妨げとなっている状況【(参考)京の豆っこ米】
 - 豆腐工場から出る「おから」を主原料とし、米ぬかや魚のアラを加え発酵させた有機質肥料(「豆っこ」)を使用した地域のブランド米。



基盤整備

計画策定

施設整備

事業活用

実践的な計画の策定

- 地域の所得向上に向けた課題の分析を行った上で、認証制度の導入等具体的な対応方針を整理
- 目標実現のため必要となる、本事業の枠を超えた多様な取組を整理

施設整備等

ブランド確立のための施設整備と販路拡大の取組

- ブランド米の根幹資材である有機質肥料「豆っこ」の供給体制強化のため、堆肥生産施設の増強と新しい技術の導入により、堆肥の増産・安定供給と高品質化を実現



豆っこ生産施設



事業活用

基盤整備

基盤整備による作業効率の向上

- 大型機械導入による生産コストの低減を目指し農作業道や水路の整備を行うことにより、農業者の所得向上を推進

事業活用

生産環境の整備・ブランド力強化による販売額の向上

- 堆肥生産施設の増強により、ブランド米栽培のための有機質肥料の安定供給・高品質化を実現
- 作業効率の向上のための農作業道や用水路の整備も併せ行い、ブランド米の増産体制を確立
- ブランド力強化のための「豆っこ」の認証制度の導入に向けた検討等、実践的な計画の策定に取り組み、地域の所得向上の確実性を向上



堆肥散布状況



ブランド米の作付状況

